

とらいあんどぐる

平成25年3月
第7号

◆メディア・リテラシー講座◆

～自分を好きになるためにメディアを読み解くちからをつけよう～



講師：高崎 恵さん（オフィス・ピュア/ワークショップデザイナー）

市内すべての中学校1年生を対象に講座を開催しました。この講座は、アニメの一部を視聴し、アニメの中で男性・女性がどのように描かれているかをグループで考え、話し合ってもらうものです。アニメでは、男性は強くたくましく、一方、女性はいか弱く守られる存在として描かれています。果たして現実はそうでしょうか。優しい男性もいれば力強く元気な女性もいます。アニメに描かれている男性・女性の姿がすべてではありません。私達は、知らず知らずのうちに、アニメなどのメディアを通じて「男性はこうあるべき、女性はこうあるべき」とどこかで決め付けていないでしょうか。また、アニメには暴力シーンも描かれています。高崎さんは、「どんな暴力であっても許されるものではありません。私達一人ひとり、かけがえのない存在であることに気づいて、自分も仲間も大切にしてください。」と話をされました。

中学生川柳

- ◆ あらためて 考える自分の 大切さ
（飯野中学校）
- ◆ 無意識に 心理と思考で 動いている
（飯野中学校）
- ◆ 暴力は 関係くずす 第一歩
（飯野中学校）
- ◆ 一人ずつ いろいろな意見は 当たり前
（上江中学校）
- ◆ みんな同じ人間で みんなそれぞれ違ってる
（上江中学校）
- ◆ 暴力は 正義のために 使うのではなく、まず警察
（加久藤中学校）
- ◆ 今までの 自分自身 変えてみよう
（加久藤中学校）
- ◆ 男女で 区別をするな 今の社会
（加久藤中学校）
- ◆ それぞれの 意見を持って いいんだよ
（真幸中学校）
- ◆ かんたんに 自分の個性 うばうなよ
（真幸中学校）
- ◆ 新しく 発見できた 本当の自分
（真幸中学校）

講座を受講して感じたことを川柳にしてもらいました。いくつかご紹介します。

高崎恵さんプロフィール：オフィス・ピュアに所属し、男女共同参画を学ぶワークショップを各地で実践すると共に、多様な立場にある人のコミュニケーションの場を創造するために地域コミュニティの総会等をワークショップで行うための研修等を行う。2003年には若い世代への男女共同参画についての広報・啓発のありかたを研究する「ピア・スタンディング」を結成

メディア・リテラシー

テレビ番組や新聞記事などメディアからのメッセージを主体的・批判的に読み解く能力。リテラシーというのは「読み書き能力」のことで、読む力と同時に書く力も含まれます。情報をうのみにせず、どんな意図で作られ、送りだされているかを自分の頭で判断するとともに、それを通じて自ら情報発信する力を身につけることをいいます。

◆ 2012 男女共同参画フォーラム in えびのが開催されました



中嶋さんの講演の様子

性別にかかわらず、互いに人権を尊重し、個性と能力を十分に発揮できる男女共同参画社会の実現に向けて、毎年、男女共同参画フォーラムを開催しています。

今年度は、12月15日（土）に、えびの市文化センターにおいて開催されました。

このフォーラムは、（※1）実行委員会の皆さんにご協力をいただき、市と市民との「協働」により準備をすすめてきたものです。

市内外より約100人の参加をいただきました。

基調講演

講師：中嶋 玲子さん

（福岡県男女共同参画推進審議会議員、元福岡県杷木町長）

『農家の嫁が町長に』と題し、中嶋さんに講演をしていただきました。

中嶋さんは、農家に嫁ぎ、家事に育児に農業と、とても忙しい毎日を送っていらっしゃいました。家族と同じように働くだけでなく、家事や育児もしなければならぬ、そのうえ、どんなに頑張っても女性の労働が正當に評価されないことに疑問を持つようになります。

そこから、中嶋さんの男女共同参画の学びが始まります。明治・大正の農家の女性に求められてきた生き方を昭和・平成の女性にも繰り返してしまっては、農業・農村に未来はないと確信し、農業女性の地位向上のため、地域の意思決定の場に女性が入るべきとの考えから町議会選挙に立候補し、トップ当選を果たします。また、2期目の任期中には町民の要請を受け、町長選に出馬し、九州で初となる女性町長に就任します。今は町長職を退き、各地で講演を行うほか、大学生として勉学に励むなど多忙な毎日を送っていらっしゃいます。

また、「男女共同参画は、決して女性だけのものではなく、男性にも関わりがある」と、中嶋さんは言い



ます。毎年、全国で約3万人の自殺があり、女性よりも男性の割合が高い状況にあることから、「男は強くなくてはならない」といった固定的性別役割分担意識（※2）が影響しているようです。

さらに、これからは、老若男女すべての人が地域づくりを担うことが、住みよいまちづくりにつながることをお話しされました。そして、最後に「男だから、女だからではなく、多様性を認め、男女に関係なく対等なチャンスが与えられる社会にしたい」と締めくくられ、終始、中嶋さんのとても活力ある大きな声とユーモアのあるお話に、会場の皆さんは熱心に耳を傾けていました。

（※2）固定的性別役割分担意識

男性、女性という性別を理由として、役割を固定的に分けることをいいます。「男は仕事、女は家事・育児」、「男性は主要な業務、女性は補助的業務」等は、固定的な考え方により、男性・女性の役割を決めている例です。

声 講演に感動！

* とても素晴らしかった。笑いあり、そして感動の涙も。話されている内容がとてもよく分かった。

元気が良くてパワーをもらいました。

(50代・女性)

* 素晴らしい講演、またどこかで聞きたいと思った。男性の聴講者の方が初めて男女共同参画の意味が分かったような気がするとの会話に同感した。解りやすく、楽しみながらの80分でした。

(70代・女性)

* 男女共同参画については、やはり難しいイメージがありました。しかし、今日の講演を聞いて、とても分かりやすく話をしていただき、参加してよかったです。男性の権利、女性の権利を守りながらその人がその人らしく生きる社会を、自分たちの地域は自分たちで守るという気持ちを持つことをこれから心がけたいと思います。

(40代・女性)

* 歯切れの良い話し方で、法律についても解説してくださり、とても勉強になりました。

(50代・男性)



(※1)

実行委員会は…

きさらぎ会、えびの市商工会青年部
JA えびの市女性部及び青年部
えびの青年会議所、えびのプロバスクラブ
いきいき女性アドバイザー WITH
えびの市農村女性のつどい
えびの市更正保護女性会
えびの市地域婦人連絡協議会
えびの市役所職員労働組合女性部及び青年部
えびの市役所職員組合青年婦人部
えびの市

●イクメン体験談

～育児休業を取得した私の育児体験記～

発表者 楠元 祐季さん（えびの市役所職員）

育児休業を取得して、子どもの世話や家事に試行錯誤した経験や自身の変化について話してくださいました。

離乳食作りに掃除や洗濯など、最初から何事も完璧にこなそうと力が入り過ぎて、自分の心を追い詰めていたこと、奥さんの気遣いのある言葉で、肩の荷がおりて気持ちにゆとりができたこと、そして、子育てによって、一緒に自分も父親として育っていこうと思えるようになったこと、などなど。また、男性が育児休業を取得することは、非常に勇気がいることであり、職場の理解や協力が不可欠であるということをお話していました。

こうして、子どもの成長の瞬間に立ち会い、自分も成長する機会を与えてくれた同僚や上司への感謝の言葉もありました。愛くるしい赤ちゃんの写真を織り交ぜながらの発表で、会場の雰囲気はほんわり温くなりました。

声 温かい気持ちに。

* 自分達の頃には、想像もつきません。今は育児取れていいですね。育休取る方もまだ少ないでしょうけど、夫と妻で仕事しながら子育て。理想だと思いました。

(60代・女性)

* 体験談を聞き、昔を思い出しました。当時は、育児休業の制度がなく、妻まかせでしたが、子育ては共同で取り組むべきだと体験談で認識しました。

(70代・男性)

* 家庭の中にしっかり入り込み、理解できていなかった妻や子どもへの配慮や心配りが深くなっていかれる様子が良くわかりました。多くの人が育休を取得できる社会になることを願っております。

(70代・女性)

◆ 男女共同参画セミナー ◆

市では、すべての人の人権が尊重され、性別にかかわらず、一人ひとりがその個性と能力を発揮することができる社会をめざして、男女共同参画社会の実現に向けた取組を推進しています。

平成24年度も下記のとおり、3つのセミナーを開催しました。



●デートDVについて

平成24年6月12日(火)

県立飯野高等学校体育館

参加者:347人(高校生306名、一般41名)

講師:特定非営利活動法人ハートスペースM
スタッフ

セミナーは、飯野高校生と市民の皆さん、一緒に聞いていただきました。決して他人事ではなく、誰でもが、デートDV(※)の加害者・被害者になりうるのです。そうならないために、お互いの違う考え方や価値観を認め合い、自分の気持ちも相手の気持ちも尊重し合える関係を築いていくことの大切さを認識する機会となりました。

(※) デートDV

若い恋人間に起こる暴力(精神的なものも含む)のことを言います。

パープルリボンは
女性に対する暴力根絶運動の
シンボルです。



●男女共同参画の視点から 防災を考えよう

平成24年7月29日(日)

えびの市文化センター 参加者:19人

講師:一般社団法人みやざき公共・協働研究会
のみなさん

阪神・淡路大震災以降、防災や災害現場に男女共同参画の視点の必要性が問われ、国の第二次基本計画にも「防災と男女共同参画」が盛り込まれました。生理用品などを男性が配布して受け取りにくかったり、スペースや仕切りがなく、何日も着替えをすることができなかったと言う声や、仮設住宅内でのドメスティック・バイオレンス(DV)(※)の表面化など、多くの課題が見えてきたからです。

一方、助かった命でありながら、その後、孤立死や自殺する人も多発しました。性別に関わりなく、すべての人が安心・安全な環境で生きるためにも、防災の取組に男女共同参画の視点は欠かせません。ワークショップでは、災害が起きたときの様子をイメージしながら、皆さん活発に意見を出してくださいました。

(※) ドメスティック・バイオレンス(DV)
夫婦や恋人などの親密な間柄で起こる
暴力のこと



●俳句カフェ ～わたくしに会おう五・七・五～

平成 24 年 7 月 21 日 (土) えびの市文化センター 参加者：29 人

講師：風歌さん、朝木ナイルさん

鹿児島から俳人の風歌さんと朝木ナイルさんをお迎えし、「わたくしに会おう五・七・五」と題した俳句カフェを開催しました。俳句を作るのは初めて・・・という人ばかりでしたが、十七文字の中にいろんな想いを込めながら自分と向き合うことのできた2時間でした。俳句も男女共同参画も「私らしく生きる」ためのひとつの手段です。参加者の皆さんがとっても素敵に輝いて見えたのは、きっと自分でも気づかない「わたくし」に出会えたからだと思います。この俳句カフェは、市ときさらぎ会との協働で実施しました。



- <天賞> さざ波を 秘めた小箱を そっとしめ (常子)
- <地賞> 緑燃え クロユリの花 凜と立つ (たみ子)
- <人賞> 夏祭り 二人乗りした 帰り道 (由美子)
- サマードレス あなたの視線 みすかされ (純子)
- 母恋し 遺品整理に なみだ雨 (萌子)
- <朝木ナイル賞> 私には 私の流儀 もじずり草 (ちづ子)

皆さん、 こんな言葉つかっていませんか？

日常生活で何気なく使っている言葉の中には、男性中心社会や男尊女卑の感覚が反映され、誤ったメッセージを伝えてしまうものがあります。

固定的な見方にとらわれず、男女を公正に扱い、男女の対等な関係を表現するように心がけたいものです。

| 見直したい表現 | こんな表現ができます |
|-----------------------------|-----------------------|
| 看護婦・保健婦 | 看護師・保健師 |
| 保母・保父 | 保育士 |
| スチュワーデス | 客室乗務員 (キャビンアテンダント) |
| 助産婦 | 助産師 |
| OL | 会社員 |
| (理由) 職業などを性別で限定・区別しています。 | |

お手数ですが
50円切手
をお貼りくだ
さい

8 8 9 4 2 9 2

えびの市大字栗下1292番地

えびの市市民協働課 行

フリガナ
お名前

(イニシャルまたはペンネームもご記入ください)

ご住所

連絡先

(電話またはメールアドレス)

◆第2次 えびの市男女共同参画基本計画を策定します。◆

平成16年に「えびの市男女共同参画基本計画」を策定して、9年が経過しようとしています。この基本計画の期間は、平成25年度をもって終了することから、新たな基本計画を策定する必要があります。これに先立ち、「男女共同参画社会づくりのための市民意識調査」(無作為抽出1,000名)を実施しました。この市民意識調査の結果を踏まえて、平成25年度には、新たな基本計画を策定する予定です。意識調査にご協力いただいた皆様、ありがとうございました。

4月以降の策定作業には、さらに皆様のご意見をいただく機会を設け、より良い計画にしていきたいと考えています。



～つ・ぶ・や・き～

家を新築することになり、めでたく上棟式を迎えた。ところが、「女性は上ってはいけない」と棟梁たちに止められた。私が施主で、私のお金で建てる「私の家」なのに・・・

あなたの家庭や職場、地域の中で性別にかかわることで(男性・女性であるが故に)体験したこと、ヘンだなあと感じたことなどお寄せください。

データに見るDVの現状

DVは決して他人事ではなく、身近に起こりうるものです。

内閣府(平成24年4月報告)によると、「女性の約3人に1人は配偶者から被害を受けた」ことがあり、「約10人に1人は何度も受けている」「女性の約20人に1人は命の危険を感じたことがある」しかも「被害を受けた女性の約4割はどこにも相談していない」ことが明らかになりました。

DVには、殴る、蹴るといった身体的な暴力だけでなく様々な形態が存在します。これらは単独で起こることもありますが、多くは何種類かの暴力が重なって起こります。

身体的暴力

経済的暴力

精神的暴力

子どもを利用した暴力

性的暴力

社会的暴力

DVは犯罪であり、重大な人権侵害です。決して許されるものではありません。もし、あなたや、あなたの周りの人が困っていたら、一人で悩まず相談してください。市では、女性相談所を設置しています。詳しくは次ページをご覧ください。

女性相談所から

【平成24年度の相談状況】

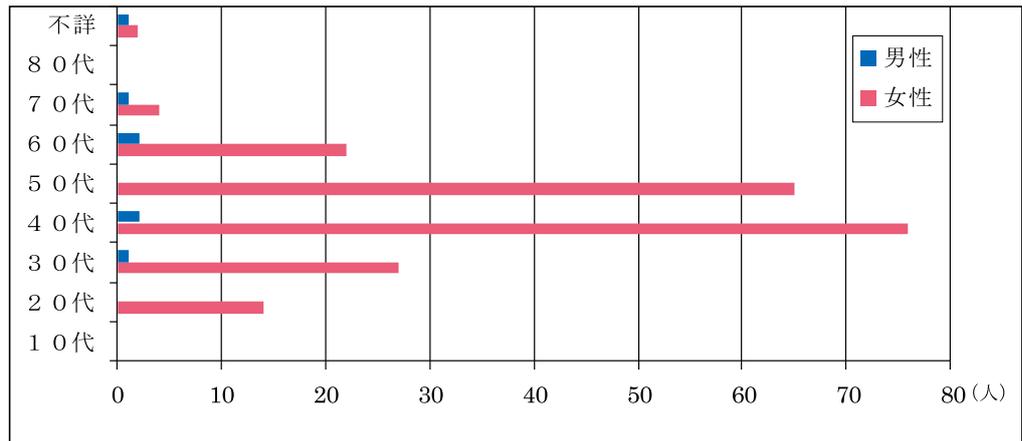
平成25年2月末現在の相談件数は217件（電話121件、面接96件）で、前年度に比べて50%の増となっています。

うち、DVに関する相談は15件で毎年二桁を超えています。

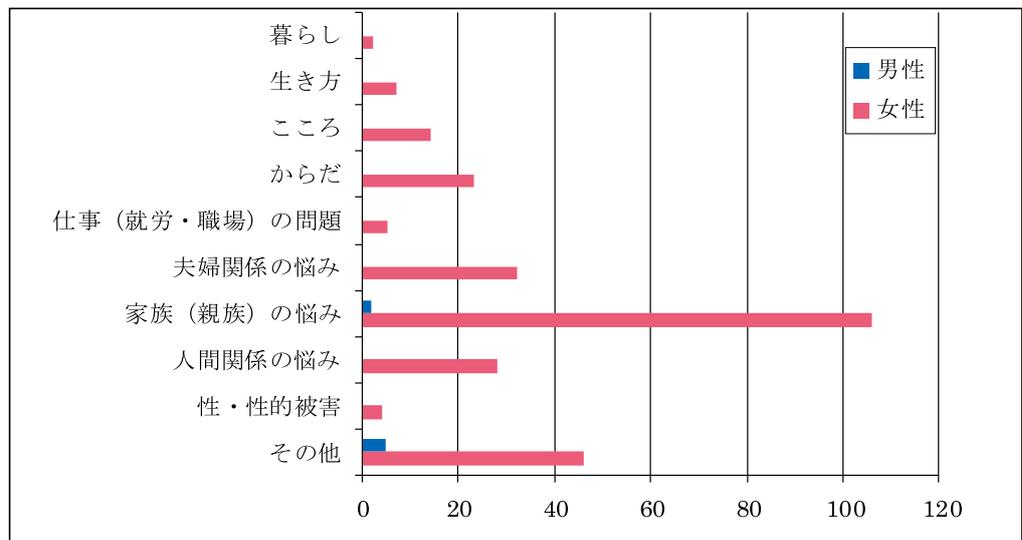
年代別では40代が最も多く、50代、30代、60代となっています。

なお、男性からの相談も7件ありました。

年代別 相談件数



相談種別



配偶者やパートナーからの暴力・セクハラ・生き方・人間関係など、さまざまな問題を抱えてどうしたらいいかわからない・・・そんなときはぜひご相談ください。

女性相談員が問題解決に向けたお手伝いをします。相談は無料で、秘密は固く守ります。

【電話相談】 0984-35-0152

月曜日～金曜日 9:00～16:00

【面接相談】 事前の予約が必要です。



あなたの男女共同参画度は？

チェックシート（生活編）

「○ = そう思う、× = そうは思わない、△ = どちらともいえない」でお答えください。

①男性（父、夫、息子など）は、家事や育児をする必要はないと思う。【 】

②老親の介護は、妻または娘がやるものだと思う。【 】

③女性（妻、母など）が家事、育児に追われ、自由な時間がとれなくなるのは、しかたがないと思う。【 】

④女性（妻、母）が外出するときは、家族の食事の準備をしてから出かけるべきだと思う。【 】

⑤家庭内の重要な事項を決断するのは、男性（夫、父など）の役目だと思う。【 】

⑥結婚相手としては、女性よりも男性の方が高学歴・高収入の方が良いと思う。【 】

⑦夫が妻に、なぐる、蹴るといった身体的暴力をふるうことも、時には必要だ。【 】

⑧夫（妻）が妻（夫）の話を無視し続けたり、侮辱的・差別的発言をすることは、暴力ではない。【 】

⑨自治会などの地域の総会や話し合いに参加するのは、男性（夫、父）の方が良い。【 】

⑩地域の集まりで、男性が会のまとめ役をし、女性がお茶出しや後片付けなどをすることは特におかしいことではない【 】

※記入し終わったら

○ → 0点、△ → 1点、

× → 2点

で採点してみましょう。

合計・・・（ ）点



20点満点のあなたは…

やったね！仲良し家族&地域でルンルン♪



あなたは性別にとらわれず、個性と能力を尊重する、自由な考え方ができる人です。家庭では、家事・育児・介護を家族で分担し、地域でも近所の人と仲良くおつきあい。周囲の人にも、あなたの考えをぜひ広めてください。

6点～19点のあなたは…

家族や地域のみならずともっと仲良くなれるはず！



あなたは、従来からの固定的な考え方と多様な考え方との間で揺れ動いていませんか？。もっと柔軟な考え方ができるようになれば、家族や地域のみならずともっと今以上に仲良くなれることでしょう。

0点～5点のあなたは…

家庭や地域にスキマ風が・・・？？



あなたは「男は仕事、女は家庭」などの従来からの固定的な考え方にとらわれているようです。もっと多様な考え方も受け入れてみませんか？

（参考 宮崎県チェックシートより 一部加筆）

編集：えびの市市民協働課／いきいき女性アドバイザーWITH／きさらぎ会

発行：えびの市市民協働課

電話：0984-35-1111（内線353） メールアドレス：kyodo@city.ebino.lg.jp